

静岡家庭医養成プログラム
へき地医療+家庭医療学修士コンバインドフェローシップ
2022 年度募集

☑ どういう人が対象か

- ・一度は医療資源の少ないところで自分の力を試してみたい！と思っている人
- ・将来途上国支援などに関わりたい、海外で働いてみたい！と思っている人

☑ どういう学びが得られるか

- ・家庭医療実践の場、教育の機会を確保しながら、海外の大学院の進学支援が受けられる。
- ・佐久間病院での研修経験者より

「病院の地域での存在意義、社会資源の違いと様々なマネージメントや制限の違い、得意不得意、地域への貢献度、その病院の変遷などを、実際現場で体験することは、自分の立ち位置を確認する上で大きな勉強となった。また自分がどこまで力をつけ、他の病院で対応できるかという、武者修行の場にもなると感じられた。」

「患者さんをどのタイミング、どんな方法(陸路 or 空路)で転院にするかの判断が勉強になりました。上部・下部内視鏡検査、超音波を医師が行うので研修すれば自然と身につくようです。隣町の診療所での診療でも得られることは多かったです」

☑ それ将来どう役立つか、何に活かせるか

- ・日本で働きながら海外の修士を取得することで、その後の博士号取得やアカデミアでの活動に繋がる
- ・研修修了後に浜松医科大学 地域家庭医療学講座や静岡家庭医養成プログラムのスタッフとして勤務することも可能
- ・世界のへき地で勤務する家庭医との繋がりが出来る

☑ 趣味、ワークライフバランス的メリット

- ・キャンプや釣りのポイントが周辺にたくさん！
- ・佐久間から浜松医大まで車で 60 分、浜松駅まで 90 分！へき地医療といっても街中に出かけられます！

1. 概要

総合診療専門医後期研修修了後のキャリアとしてへき地診療での経験を積みながら海外の家庭医療の遠隔大学院にて修士号を取得する。

2. 目標

- ・海外の遠隔大学院において家庭医療学の修士号の取得
- ・家庭医療の土台の上にへき地で必要な幅広い診療を実践できる（産婦人科、整形外科、小外科など）
- ・家庭医療、へき地医療の学問的基盤を説明できる

3. 研修内容

期間中に体験すること、学習方略

- ・学費や渡航費の支援を受け、Western 大学（カナダ）など佐久間病院にて勤務しながら通学できる家庭医療やへき地医療の遠隔大学院の履修
- 参加者の希望に応じて、Western 大学以外の海外、国内の遠隔大学院や 2 週間程度の研修に変更することも可能
- ・へき地だからこそできる臨床研究を行い、へき地からのエビデンスを発信できる
- ・ACCRUM、WONCA など海外のへき地医療学会で発表出来る

週間スケジュール（曜日ごとの研修例）

1 年目：静岡家庭医養成プログラムの教育サイトにて家庭医療の実践及びレジデントの教育を行いながら、へき地で必要な幅広い診療を実践できる（産婦人科、整形外科、小外科など）
佐久間病院で実践が必要な手技（上部消化管内視鏡など）に応じた研修も行う

研修例 1 年目

	月	火	水	木	金
午前	外来プリセプティング	外来	外来プリセプティング	外来	外来
午後	外来	訪問診療	外来	教育セッションへの参加 Or 研究日	訪問診療

2-4 年目： 佐久間病院で勤務しながら週 1 日は研修日とし、静岡家庭医養成プログラムの教育サイトでの外来やグラウンドへ参加することも可能

	月	火	水	木	金
午前	外来	外来	外来	研修日	外来
午後	外来	訪問診療	外来	研修日	訪問診療

研修場所（+ 選択肢）

1 年目：静岡家庭医養成プログラムの教育サイト（菊川市家庭医療センター、森町家庭医療クリニック、御前崎市家庭医療センターのいずれかあるいは複数）で家庭医療の実践及びレジデントの教育を行いながら、へき地医療に必要な幅広い診療を診につける

+ 研修者のそれまでの経験に応じて必要な部分（産婦人科など）をブロックローテーションで補う

※その科の全体でなく、へき地に必要な初期対応やトリアージに重点を置いた研修

+ 海外大学院進学に必要な英語能力テストの受験や書類の作成

例

教育診療所 6 か月	産婦人科 2 か月	整形 2 か月	教育診療所 2 か月
------------	-----------	---------	------------

2-4 年目：佐久間病院で勤務しながら、週 1 回の Web メンタリングを受ける

・静岡家庭医養成プログラムの教育 WS への参加

・へき地医療機関にサイトビジットを行う浜松医科大学地域家庭医療学講座教員から現地でのメンタリングを受ける（3-4 か月に 1 度）

・Western 大学などへき地勤務しながら通学できる遠隔大学院の履修

・、ミシガン大学から指導医が来日した際のリサーチコンサルテーション

・オプションとしてミシガン大学への訪問

例

へき地診療所あるいは病院

4. 期間

4 年間

2022 年 4 月～2026 年 3 月

5. 指導体制

浜松医科大学地域家庭医療学講座・静岡家庭医養成プログラム指導医 井上真智子特任教授

横浜市立大学医学群データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻 金子 惇
佐久間病院 院長 三枝智宏

6. 修了要件（※修了時に行われる評価、総括的、形成的ふくむ）

- ・修士号の取得
- ・修士論文の概要や学習内容をポートフォリオとして発表
- ・1週間に一度メンタリングを行い形成的評価を行う
- ・所定の期間の研修を行い、修了要件を満たしたフェローには修了証書を授与します。

7. 募集定員・応募要件（※対象者が事前に満たしているべき要件）

・日本プライマリ・ケア連合学会認定の家庭医療学専門医、家庭医療プログラム修了者（家庭医療学専門医試験を受験予定の方）、プライマリ・ケア認定医、またはこれらに準じた臨床経験のある方

8. 条件・待遇

- 1) 1年目は所属医療機関の有期雇用の常勤（臨時職員）待遇。
静岡家庭医養成プログラムの施設に所属して2年目以降は常勤待遇となります。
- 2) 木曜午後は、グラウンドラウンド（勉強会）、職員会議への参加、または研究日となります。
- 3) その他、勤務環境の状況に応じて、在宅待機、日当直等があります。

9. 応募の手続き・選考

所定の書類を郵送または応募フォームにて提出してください。

書類選考ののち、面接を行います。面接の詳細は個別にお知らせします。

提出書類：（所定の様式あり）

- 1) 願書 兼 履歴書
- 2) 志望動機書（Personal statement）

10. 申込み・お問い合わせ先（※見学も可能です）

浜松医科大学医学部附属病院総合診療専門研修プログラム

（静岡家庭医養成プログラム）事務局

〒431-3192 浜松市東区半田山 1-20-1

E-Mail: fammed-program@hama-med.ac.jp

電話：053-435-2416

以上